

磐梯町のできごと	◎日本のできごと ●福島県のできごと
1643年 保科正之、会津藩主となり各地(寛永20年)の新田開発を奨励する。	
1650年 落合の鈴木四郎右衛門が中心と(慶安3年)なって、日橋川に架橋し新橋と名づける。	
1709年 藩命によって延長4kmの布藤堰(宝永6年)が掘り開かれる。	
1873年 学制発布により磐梯尋常小学校(明治6年)が開校する。	1867年 ◎江戸幕府がほろびる。
1875年 磐梯郵便局がおかれ、郵便業務(明治8年)を行う。	1868年 ●戊辰の役で鶴ヶ城が落城する。
1888年 磐梯山が大爆発する。(明治21年)	1872年 ◎東京・横浜間に鉄道が開通する。
1889年 更科・磐梯・大谷・赤枝の4ヶ(明治22年)村が合併して磐梯村となる。	1876年 ●福島・若松・磐前の3県を合わせて今の福島県になる。
1892年 地区民の要望により大谷尋常小(明治25年)学校が設立される。	1882年 ●安積疏水が完成する。
1899年 磐越西線・郡山—若松間(岩越(明治32年)鉄道)が開通し、大寺駅(今の磐梯町駅)ができる。	1889年 ◎大日本帝国憲法が発布される。
	" ◎東海道本線が全線開通する。
	1891年 ◎東北本線が全線開通する。
	1899年 ●若松が市になる。